

佐賀県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 5 名

立候補者数 : 3 名



氏名 峰松 一茂

都道府県士会 佐賀県

年齢 46

勤務先名称 有島病院

協会・士会役員歴

佐賀県理学療法士会関係

平成13年4月～平成14年9月 (社)佐賀県理学療法士会 スポーツ福祉部長
平成14年10月～平成20年度 (社)佐賀県理学療法士会 卒後教育部長
平成21年度～平成23年度 (社)佐賀県理学療法士会 学術局長
平成24年度～平成28年度 (社)佐賀県理学療法士会 教育局長
平成25年度～現在 (公社)佐賀県理学療法士会 副会長
平成29年度～現在 (公社)佐賀県理学療法士会 事務局長

日本理学療法士協会関係

平成23年度～現在 (社)日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

私は、平成13年より県士会の部局長を勤めさせて頂きました。その間、スポーツ福祉部長・卒後研修部長、学術局長、教育局長を経て、現在は事務局長・副会長を勤めさせて頂いき、佐賀

桜マラソンボランティア活動・新人研修会の開催・臨床実習指導者研修会の開催・県士会学会のサポートを主に行うことができました。これも諸先輩のご指導と会員の協力のおかげと感謝しております。

今後は、質の高い理学療法を地域の方々へ提供できる理学療法士が必要と感じております。そのためにも中間層、又は管理職の教育及び管理能力が非常に大切なのではないかと考えており、県士会としての組織力の強化、事務能力の向上を通して会員や県民へ貢献できる理学療法士育成を目指していきたいと思っております。

まだまだ未熟者ではありますが、会員との交流を大切に、会員と協会の橋渡しができるように努力したいと思っております。皆様からの応援よろしくお願い致します。



氏名 棕野 智治

都道府県士会 佐賀県

年齢 49

勤務先名称 佐賀整肢学園からつ医療福祉センター

協会・士会役員歴

平成16年度～平成23年度 佐賀県理学療法士会 渉外部 県内外渉外部長
平成24年度～平成28年度 佐賀県理学療法士会 学術局長
平成24年度～平成27年度 佐賀県理学療法士会 学術局 専門領域研究部
小児理学療法部長
平成25年度～現在 佐賀県理学療法士会 理事
平成29年度～現在 佐賀県理学療法士会 副会長
平成26年度～現在 日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

今後訪れてくる高齢化に対して、地域包括ケアシステムが動き出し、介護予防事業や地域ケア会議への市町村からの参加依頼等今後は公的機関との共同が求められ、そしてそれは各市町村単位での活動が求められてきます。今迄のように病院・施設内だけでのリハビリテーションから地域を目指した対応、そして実際に地域に出る活動などさらに広範囲にわたっての介入が必要となってきます。その為にも、それらの要望にしっかりと答えていけるような人材育成も求められてきます。

私は佐賀県理学療法士会でここ数年学術関係の事業に携わってきており、今まで会員の皆さんが関わってこられた患者様の多岐にわたる症状への対応だけでなく、介護予防など健康な高齢者の方に対する知識や技術も求められてきます。

その要望に応えられるように、私は学術面の方から、一人でも多くの会員の皆さんが知識や技術を身近なところで学び、同職種だけでなく、関連した他職種の方々との連携も図れるような研修会や講習会等を企画していきたいと思っております。

少しでも会員の皆さんが満足して頂けるように頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



氏名 片瀨 宏輔

都道府県士会 佐賀県

年齢 55

勤務先名称 佐賀県医療センター好生館

協会・士会役員歴

2009年～2013年 社団法人佐賀県理学療法士会副会長
2011年～2013年 社団法人佐賀県理学療法士会理事
2013年～2015年 公益社団法人佐賀県理学療法士会副会長・理事（事務局長兼務）
2015年5月～現在 公益社団法人佐賀県理学療法士会会長・理事
2010年～現在 公益社団法人日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

団塊の世代が75歳以上となる2025年までの地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが加速的に進んでおり、市町での地域ケア会議や介護予防事業への会員派遣依頼の数も徐々に増え、我々理学療法士に対する期待と責任の大きさを感じます。本会としては、まず組織の強化策として、今年度より地区担当の理事を配置し、地区担当部長や地域ケア担当者と緊密な連携の下、地区活動の活性化を図っております。また、各地区や市町村へとミクロ化する依頼に組織として対応するには、各地域を基盤としている医療機関、介護保険関連施設、教育機関等に従事している管理者の協力体制が必要不可欠であり、職域別の研修会を開催し、ネットワークづくりに努めております。一方、この変革の時代において、会員諸氏、特に若い会員が10年、20年先を見据え、専門職として希望とやりがいをもって働き続けられるよう、本会としても会員個人の自己研鑽によるキャリアアップと質の向上をサポートできる体制づくりが必須であります。日本理学療法士協会（以下、協会）と連動し、生涯学習システムに対応した新人教育プログラムや専門領域別研修会の開催など、キャリアアップの基盤整理を、引き続き進めて参りたいと思います。佐賀県理学療法士会としても、自律性を持ち、関係諸団体と連携を図りながら、地域に役立つ組織づくりと人材育成に努めて参りますが、その礎を構築するのは協会の役割だと考えます。そのためにも、会員の声を協会へしっかりと届けるパイプ役としての代議員の役割が重要であり、その責務が大きいことは言うまでもありません。これまでの経験を活かしつつ、今後とも微力ながら頑張る所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。